

# 最古のアジア人・最古の日本列島人 — その古さを測る —

**キーワード：人類の起源と進化、化石骨、年代推定、日本の旧石器時代人、ジャワ原人**

人間文化創成科学研究科 自然・応用科学系 専門分野 自然人類学 松浦秀治

E-mail: [matsura.shuji@ocha.ac.jp](mailto:matsura.shuji@ocha.ac.jp) URL: <http://www.eng.ocha.ac.jp/anthropol/index.htm>

TEL: 5978-5769

人類の進化や日本人の起源を研究するには、その具体的な資料であり、様々な生命・生命体情報の宝庫として「化石となった生」とも言える古人骨を対象とした研究が不可欠である。そうした研究においては、資料の「古さを特定し、編年をおこなう」ことは「古人骨からのわかること」への基盤情報をなす。



2001(平成13)年9月7日 毎日新聞

## 浜北人はやっぱり「旧石器時代の人」

静岡県浜北市で約40年前に見つかった「浜北人」と呼ばれる人骨一写真—は約1万4千年前、旧石器時代のものだと確かめられた。お茶の水女子大の近藤直樹と松浦秀治教授らが骨から直接、年代を測定した。この方法で旧石器時代の人骨が確認されたのは国内で初めて。22日から東京都で開催される国際人類学民族学会議で発表する。



お茶の水女子大が測定

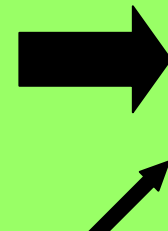
浜北人は、出土した場所の地層と一緒に見つかった動物の骨の年代を調べた結果から、旧石器時代人とみなされていた。

近藤助手らは、浜北人の頭や腕の骨を少量だけ削って最新の放射性炭素年代法で計測した。

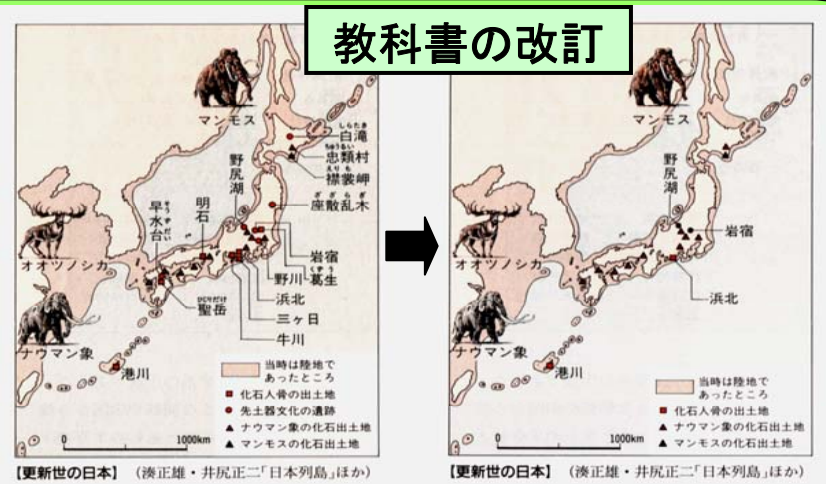
浜北人の人骨は地層の上層と下層で見つかった。今回は上層の骨を測定。上層の骨の年代が分かったことで、下層の骨はこれまで推定されてきたように約1万8千年前のものである可能性が高まったという。

2002年9月14日 朝日新聞 →

三ヶ日人骨や浜北人骨の年代測定



このほか、「葛生原人」の年代測定などから



↑ 平成13年(2001年)度版 東京書籍 高校「日本史 B」教科書  
↑ 平成14年(2002年)度版 東京書籍 高校「日本史 B」教科書

ジャワ原人の研究もしています



← ピテカントロプス VIII号頭骨